

演劇的手法 ステイタス

非言語メッセージへの対応

「ステイタス」とは、人と人の中に生まれる「立場・地位・身分などの違い」のことを言います。通常、私たちは他者とスムーズにコミュニケーションを図るために、その場に応じたステイタスを使い分けています。外と内のステイタスが異なると、相手との関係性が複雑になります。

外的ステイタス:社会的な関係における立場の高低のこと。

買い手>売り手 先生>生徒 上司>部下 年上>年下 …

内的ステイタス:性格や当事者間の関係性など、心理的な要素によって決まる立場の高低のこと。

※「人と人」の関係の他に「人と場所」や「人と物」にもステイタスが存在します。

上座>下座 後部座席>助手席 椅子の座り方 洋服 …



©ラーンフォレスト合同会社

演劇的手法 ステイタス「雑談」

非言語メッセージへの対応

・グループワーク

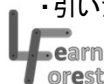
・1~5(グループ人数分)のカードを用意。

・裏返しにして各自カードを引きます(カードは他人に見えないように)。

・1が一番弱い 3は普通 5が一番強い(偉い)

・カードの数字は本人のみしかわかりません(相手の数字もわからない)。

・引いたカードのステイタスを意識して、グループで2~3分ほど会話して下さい。



©ラーンフォレスト合同会社

演劇的手法 ステイタス「会議室」

非言語メッセージのへの対応

- ・各グループの代表を1人選び、ステージに集まってもらいます。
- ・裏返しにして各自カードを引きます(カードは他人に見えないように)。
- ・1が一番弱い 3は普通 5が一番強い(偉い)
- ・カードの数字は本人のみしかわかりません(相手の数字もわからない)。
- ・任意の順番でドアをノックし、会議室に入る演技をします。「コンコン」とノックの音を発声して入室します。その後は言葉を発せずに演技をしてください。



©ラーンフォレスト合同会社

演劇的手法 ステイタス「会議室」

非言語メッセージのへの対応

【ねらい】

- ・ステイタスの「高い／低い」を体験し、ステイタスをコントロールすることによりコミュニケーションが円滑に行われることを再認識してもらう。



©ラーンフォレスト合同会社